

酒田市は「日本一女性が働きやすいまち」を目指します



★酒田市が考える「日本一女性が働きやすいまち」とは

- ☆職域において男女が均等な機会と待遇が確保されているまち
- ☆ワーク・ライフ・バランスが推進されているまち
- ☆多様な分野で女性の活躍が推進されているまち

どうして日本一女性が働きやすいまちを目指すの？

【女性の現状】

- 20・59歳女性就業率7割以上と高く、女性が働くことに抵抗感がない。
- 家庭との両立などの理由から非正規雇用の割合が高く、男性に比べて平均賃金が低い。
- 20・39歳女性が職場で男女が平等あると感じる割合は約3割、女性が優遇されていると感じる割合が約1割と少なく、もっと職場で自らの力を発揮したいと思う女性が多い。

働く場面で女性の力が十分発揮できているとは言えないが、その土壌は備わっている。

【企業の現状】

- 少子高齢化が進み、労働力人口が減少する中、人手不足が顕著になっている。
- 女性があらゆる分野に進出しており、女性登用も進んでいる。
- 女性管理職の割合が全国（R1 11.4%）より山形県は高い（R1 15.0%）。

性別にとらわれない新たな価値の創造が求められている

働く、働こうとする女性がその個性と能力を十分に発揮することは、持続的な成長、社会の活力維持につながるのん！



平成29年度酒田市民フォーラムで 「日本一女性が働きやすいまち」を目指す宣言を行いました



市民フォーラムでは、行政、経済団体、経営者、働く人が連携して取り組んで行くことを宣言しました。

日本一女性が働きやすいまちへ

少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少する中、誰もが生き生きと働き続けることのできる環境を整えることが、地方創生の根幹となります。

酒田市は、自らの意思によって働くまたは働こうとする女性が、その個性と能力を十分に発揮し、その思いを叶えられるまちを目指し、「日本一女性が働きやすいまち」となるよう、行政、経済団体、経営者、働く人が連携して取り組みを進めていくことをここに宣言します。

平成29年10月1日

日本一のためにその1

職域における男女の均等な機会と待遇の確保①

【目指すもの】

雇用等における
男女の均等な機会と待遇を確保
します



雇用等に関する法律や制度
の定着を促進します

【目標：女性活躍推進法に基づ
く一般事業主行動計画届出件数
を2024年まで17件に】

- 国・県の各種制度を市内事業主に周知し利用を促
す（女性活躍支援員（産業振興まちづくりセン
ター）による啓発）
- 企業代表に「日本一女性が働きやすいまち宣言に
賛同するリーダーの会」への登録を促す。

企業等に対する啓発セミ
ナーを実施するなど、職場
におけるアンコンシャス・
バイアスの解消に取り組む。

- 地域で行われている事業主向け各種セミ
ナーカレンダーを作成し、「酒田市女性応
援ポータルサイト」等により周知し参加を
促す。

管理職等への女性の登用を促進し
ます

ハラスメント等防止対策を促進します

市ホームページ等で職場における
セクハラ等の防止に関する啓発を
行う。

日本一のためにその1

職域における男女の均等な機会と待遇の確保②

【目指すもの】

自営業等における男女共同参画を促進します



方針決定過程における男女共同参画を促進します。

○女性農業者向けセミナーを周知し参加を促す。

○女性が就農しやすい環境を整備する。
・働く場所や時間に制限のある子育て世代の女性の就労先の一つとして、農繁期に求人を行える農業経営体（農業法人等）の育成を進める。
・農業者年金の加入等にもメリットのある家族経営協定の締結を周知し、女性が農業経営に参画する意識の醸成と女性の能力が発揮できる環境を作る。

○商工業・農林水産業関係団体等への女性参画を促進する。



○農業委員等への女性の参画を促進する。

自営業等における女性の処遇を改善します。

【目標：家族経営協定締結農家数 2018.3時点134件を2022までに増加させる】

○消費者や異業種の女性の交流を通じ、次世代のリーダーとなりうる女性人材の育成を図る。

日本一のためにその2

ワーク・ライフ・バランスの 推進①

【目指すもの】

ワーク・ライフ・
バランスに
配慮した職場環
境づくりを推進
します



男女が共に働きやすい
就労環境の整備を促進
します。【目標：女性活躍
推進法に基づく一般事業主行動
計画届出件数を2024年まで17
件に】

○総合評価落札方式による工事入
札において「やまがた子育て・介
護応援いきいき企業」等に加点措
置を行う。

○市役所では、特定事業主行動計画に基
づく仕事と生活の調和を推進するため長
時間労働の是正に向けて取り組む。

育児・介護等を行う労
働者の継続就労を支援
します。



○各種支援制度の周知を図る。
○男性の育児休業等取得のための環境整備を促
す。

○女性活躍支援員が企業等に対して制度
紹介や意識啓発を行う。

○関係機関と連携して、ハラスメント防
止対策を周知する。

日本一のためにその2

ワーク・ライフ・バランスの 推進②

【目指すもの】

家庭生活における
男女共同参画
を促進します



家事・育児・介護等への
男性の参画を促進します。

アンペイドワークへの理解を促
進します。【目標：ウィズ出前講座受
講団体数を2022年まで50団体に】

○ウィズの出前講座等によりアンペイドワー
クの価値の再認識を促す。

○食生活改善推進員等への男性の参画を
促す。

○男性の家事等への参加意欲を醸成する講座を
開催する。



日本一のためにその2

ワーク・ライフ・バランスの 推進③



【目指すもの】

子育て、介護な
どのための社会的
的支援の充実を
図ります



保育・介護等サービス
を充実します【目標値：希
望通り保育サービスを利用でき
た割合を2022年まで90%に】

○みなと保育園において休日等保育、一
時預かり保育を行う。
○保育士等就職ガイダンスなどにより保
育士等の人材を確保する。

○あきは病児・病後児保
育所において病児送迎
サービスと受診付添い
サービスを行う。

○学童保育所の待機児童が発生しないように、今
後の施設整備方針を検討する。

相談事業を充実します。

○子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」
で妊娠期から出産、子育て期まで継続的な育
児相談支援を行う。

○介護に関して相談できる場を提供し、介護中
の親族の心的負担を軽減する。



日本一のためにその3 多様な分野での女性の活躍推進①

【目指すもの】

女性のスキル
アップ機会を充
実し、女性の
チャレンジを支
援します



女性の再就業やさらなる
キャリアアップを支援し
ます。

○子育てしながら働きたい女性の総合的な
支援窓口である「マザーズジョブサポート
庄内」を連携して周知を行う。

○産業振興まちづくりセンターにおいて、女
性が自分のライフスタイルに合った働き方を
選択できるよう、デジタルツールを活用した
仕事の獲得機会を創出する。

女性の意識啓発を図ります。

【目標：女性応援ポータルサイトアクセ
ス件数2021年10,500件】

○酒田市女性応援ポータルサイトでセミ
ナー情報など女性活躍に関する情報を集約
し、一元的に発信する。

女性の多様な働き方を支
援します。【目標：産業振興
まちづくりセンター年間利用者
数を2022年に2500人に】



日本一のためにその3 多様な分野での女性の活躍推進②

【目指すもの】

性別により職域
を限定しない働き方を支援します



職域拡大を促進します。

【目標：女性の消防士採用人数
を2022年まで1人に】

○消防職員としての女性の活躍を推進
するために酒田地区広域行政組合消防
本部が行う取り組みを周知する。

○総合評価落札方式による工事入札にお
いて「やまがた子育て・介護応援いきい
き企業」等に加点措置を行う。

○「酒田市女性応援ポータルサイト」で、
ロールモデルの紹介をする。



女性が働きやすいまちは、
男性も働きやすいまちにつながります。
誰もが、個性と能力を発揮できるまち
にしていきましょう！

